



松本市議会議員

吉村幸代

よし むら さち よ

発行 吉村幸代後援会

〒399-0025 長野県松本市寿台9丁目4-1
Tel & Fax 0263 (58) 0201
E-mail sachiyo941@gmail.com
URL <http://yoshimura-sachiyo.jp/>

の活動レポート

第21号(令和4年総集号)



2023年1月発行

医療と福祉に向き合った一年 予算特別委員会の副委員長も務めました

議員2期目の最終年

令和も既に5年目、歳月の過ぎゆく速さには戸惑いを覚えます。コロナ禍のもとで新しい年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

私の議員2期目も、残り僅かとなりました。令和4年を振り返りますと、予算特別委員会の副委員長を務めることになった早春へと記憶が遡ります。基幹博物館整備事業の用地賃借料を巡って、市長と教育長に総括質疑を行いました。完成した基幹博物館の用地は約半分が借地で、10年限りの事業用定期借地権(更地にして返す)が設定されています。質疑を経て、「用地問題の解決により一層取り組み、議会に報告すること」という付帯決議案を基幹博物館建設特別委員会の総意で提出、全会一致で可決に至ることができました。

5月からは、市議会厚生委員会

に所属して活動しています。同委員会は、健康福祉部(中核市となつて設置された松本市保健所を含む)・子ども部・病院局(松本市立病院と四賀の里クリニック)を所管。医療や福祉の問題に向き合いたいと考え、自ら希望しました。

同時に、松塩筑木曽老人福祉施設組合議会にも、委員および同議会運営委員会副委員長として深く関わっています。この議会は、松本市・塩尻市・安曇野市・東筑摩郡5村・木曽郡6町村で組織し、特別養護老人ホームの設置管理運営等について共同処理する一部事務組合。折から介護人材の不足が深刻な上に、建築資材の価格高騰を受けて、四賀福寿荘の大規模改築計画が頓挫しかけています。

新しい生活様式とともにある私たちの生活。「市民益を守る」を基本姿勢として私は歩んでいます。



▲ 令和4年12月 登壇! 定例会の一般質問
傍聴にお越し下さった皆様方の応援を背に

登壇! 6月定例会

1. 松本市地域防災計画と文化財の被災対策

- (1) 松本市地域防災計画の変更
- (2) 文化財の被災対策
- (3) 松本深志舞台保存会の舞台保管庫整備

2. 本市の法務体制

- (1) 基幹博物館の用地交渉
- (2) 基幹博物館建設における3つのターニングポイント
- (3) 法務体制の強化と予防法務の必要性
- (4) 市長の政治姿勢

多発する災害、大切な文化財を守る対策は充分でしょうか。松本深志舞台保存会 16 町会の舞台は修復されましたが、保管庫の耐震強化も必要です。博労町の舞台保管庫の改修には、お願いしていた補助金の交付が決定しました。「深志神社内の 14 町会の舞台保管庫の改修・整備にも公的な支援を」という吉村の要望に対し、「今後予定される舞台保管庫改修も、防災的観点から支援を行う」との確約を得ました。舞台の観光面での活用についても、「可能な支援について検討を進める」との答弁をいただくことができました。



基幹博物館が完成！
支払いは 65 億円、用地の借地契約終了は 8 年後。手放して喜べない事態に陥っています。博物館建設における 3 つのターニングポイントを検証し、法務体制の強化の必要性を質しました。市長から、顧問弁護士を設置を検討するという答弁を得ました。



▲ 市民タイムス 令和 4 年 6 月 16 日 (木)

登壇! 12月定例会

1. 第1回「松本城の日」を終えて

- (1) 松本城ウィークの反響と成果
- (2) 敷地内の案内と多言語表記
- (3) 魅力的なキャッスルショップ

2. 地方自治の本旨と一部事務組合

- (1) 四賀福寿荘の大規模改築見送り
- (2) 高齢者福祉施設に関する本市の方向性
- (3) 一部事務組合への民主的コントロール

3. まつもと市民芸術館と文化振興策

- (1) 芸術監督制存続の是非
- (2) 市民意見の汲み上げ
- (3) 市長の政治姿勢

松本古城会の提案「映像シアターの字幕の多言語化」、松菊会の要望「菊花展の文化や歴史を紹介する多言語表記看板」を伝え、魅力的な売店に関しても質問しました。松本城オリジナルネクタイ再提案！

初代芸術監督の来春引退を受けて、専門家により後任の検討が始まっていますが、市の内部評価には現状分析の記載がなく、専門家の提言内容が貼り付けられているだけです。芸術監督制は、市民芸術館のあり方と本市の文化政策の方向性に関わる重大事。20 年程前、芸術館建設が争点となった市長選で、初当選した菅谷市長が立ち上げた「まつもと市民芸術館運営審議会」でも、芸術監督制の是非は議論の中心でした。松本発の演劇制作に、毎年 1 億円の事業費を 20 年近く投入し続けてきましたが、今後も続けた方が良いでしょう。それによって松本市に何がもたらされ、私たち市民は何を得たのでしょうか。市民意見は反映されていると感じますか？

議会人の矜持

令和4年初冬、4人目の孫が生まれた。また男の子だが、そんなことは論外。産む立場になってみれば、第2子を望みながら授からない年月の苦悩、コロナ禍中の妊娠生活の不安、番狂わせ続きの出産。母子揃って無事に帰宅できた時点で、生まれた子の性別などどうでも良くなっていたが、コロナウィルスがいかに私たちを翻弄するものかを思い知らされた。

スーパーマーケットに立ち寄ると、食品の価格が高くなっている。食べ盛りの子がいる家庭は大変だろう。コロナ禍で営業できなかった飲食店の苦境にも、物価高騰が追い打ちをかける。日常の苦しさが増え続ける市民生活。

為政者が新しい政策を打ち出す際、こつした社会情勢や経済状況を加味するのは当然だと私は思う。仮に新しい政策が当選時の公約だとしても、政治的ロマンの追求は

保留と願いたいところ。人それぞれに考え方は違い、違つのは当たり前であるが、根ざす基本だけは人として違わずにありたい。

先輩議員いわく、市長と議会は車の両輪であるそう。本当にそうなのだろうか。むしろ、エンジンとブレーキではないかと私は感じる。スピードを出して進みがちな市長には、ブレーキをかける存在が必要となる。

前市政では、斬新な試みや話題性はさほど重視していない印象で秩序止しさと慎重さが際立っていた。私は、行政とはそういった地道堅実なものと感じ込んでいたが、一般質問等における発言はいつしか提案型になっていた。

一方、現市政は目新しい施策を貪欲に追求し、斬新な方向性に意欲を示しているように見受けられる。そして、私の発言はいつ、いつ、ブレーキをかけ続けている。

家庭生活に置き換えると、夫婦のかたちも同様ではないか。互いの足りないところを補い合っている。暮らしているといつももの。結婚生活45年。妻である私は、我が夫に合わせて自身を変えながら

生きているようなところがある。

また、先輩議員いわく、議会とは社会の縮図であるそう。議員には様々な人がいるからという。本当にそうなのだろうか。

統一地方選挙の年となり、立候補者が次々と名乗りを挙げている。議会はそんなに甘い世界ではないのと思う。

市職員は優秀な上に、政策立案のプロ。当選の暁には、彼等を相手取り、知力や基礎教養、語彙力の試される日々が待ち受けている。人生経験が全てではないものの、世間の一般的な常識やバランス感覚が乏しくは、およそ通用しない。その上に体力と精神力も求められる。例えば、若い世代が政治を志すのは結構なことであるが、「まともな職につけないから立候補してみようか。当選したら人生巻き返せる」では困る。

ブレーキをかけた案件が山積みで、私は今、引き下がるわけにはいかない。議会人の矜持をもって、3度目の戦いに赴く。

有権者の皆様方には、候補者をきちんと見極める努力をしていたきたいと切に願っている。

編集後記

4年に1度——オリンピックなら胸弾むが、選挙となると気が重い。▼新春に発表された松本市の地区別人口、吉村の住む寿台は減少の一途だ。半世紀前「県下最大級のマンモス団地」とうたわれた住宅地区の高齢化率は、今や奈良や入山辺等に続き市内第5位。人々が願ったはずの長寿と核家族生活の果ての悩みは深刻で、溜息が出るが、いずれ多くの地区が同じ道を辿る。▼選挙は数。とかく地区対抗戦の色合いを帯びがちな市議選で、大きな地区の候補者であれば、どれだけ楽か。しかし、本来競いあつべきは地区の大きさではない。人口と税収が減り続けていく中で松本市の持続すべき道、その政策論争に花を咲かせて欲しい。▼このレポートが、今期最終号。8年間、松本市全地区の後援会員宅に配布し続けてきた。手入れができなくなり草が繁った庭や、玄関に設置された手すりに時の流れを実感する。「弱小地区から戦いを挑む吉村です。地区を超えて応援してくださいる皆様が頼りです。」小さな声で呟きながら、今日も行く。明い春を屈指して。(結城)



▲ 3/20(日) 松本西南ロータリークラブ
植樹の取り組み・内田地区にて



▲ 4/13(水) 桜・松本短大幼稚園



▲ 4/21(水) 活動レポート配布



▲ 7/25(月) 天神祭・深志神社



▲ 9/20(火) 清酒「寿一番星」悪疫退散祈願・深志神社



▲ 9/24(土) 中山公民館にて
なかやま体験フェスタ

吉村写真館 2022年 1月～12月



▲ 10/9(日) レオイベント・長野市
松本蟻ヶ崎高校書道部が出演



▲ 10/23(日) 第46回寿台文化祭
寿台太鼓連の演奏



▲ 10/30(日) 松本蟻ヶ崎高校書道部
全国大会三連覇祝賀会



▲ 11/3(木)～10(日) 国宝松本城Week
松菊会による菊花展 & 古城会の案内活動 ▲



▲ 11/13(日) 松本マラソン2022
寿台太鼓連の沿道応援演奏
寿石油(株) 寿東S Sにて



松本市議会の給水ボランティア ▲
信州スカイパークにて、芝山議長と